



株主の皆様へ

# 第54期 上半期報告書

2016年4月1日~9月30日

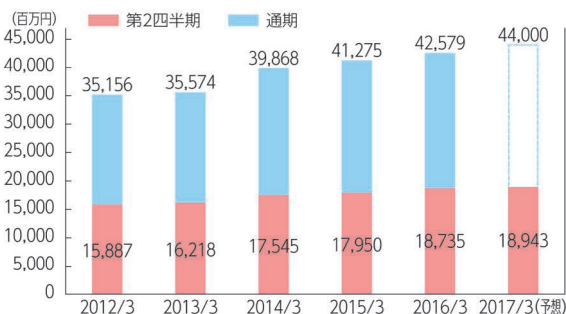
**日本空調サービス株式会社**

# 経営理念

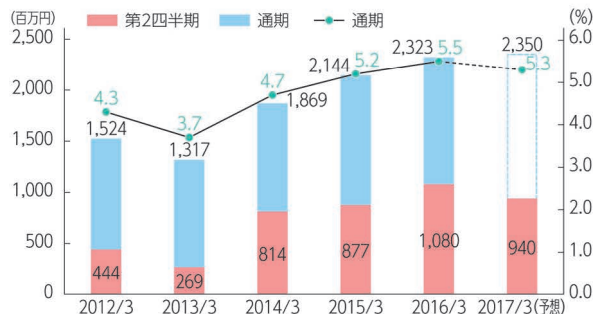
日本空調グループは、  
**お客様に安心感を与える最適な環境を維持するために、  
 技術力と人的資源を結集させ、高品質サービスを提供する**  
 という経営理念を全社員が共有し、一丸となってお客様の満足度のより一層の向上を追求しております。  
 1964年の設立以来、建物設備メンテナンスに携わる独立系企業グループとして、  
 故障・事故を未然に防ぐ「予防保全」の概念を事業化し、空調のみにとどまらず、  
 電気、給排水、衛生等を含めた建物の設備システム全般を対象としたビジネスモデルを構築してまいりました。  
 これからも、建物設備のメンテナンスサービスを通じて、建築物に要求される最適な環境を実現する  
 「環境創生企業」として社会に貢献することが、私たち日本空調グループの使命であると考えております。

## 連結経営成績

### ●売上高



### ●営業利益・営業利益率



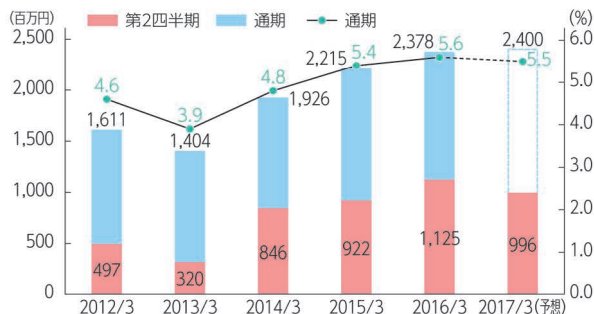
## 日本空調ブランドの一層の強化と グローバル化を促進させ、 全てのステークホルダーの幸せを 追求してまいります。

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
ここに当社第54期上半期(2016年4月1日から2016年9月30日)における  
営業の概況ならびに決算の内容等につきましてご報告申し上げます。  
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解と  
ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

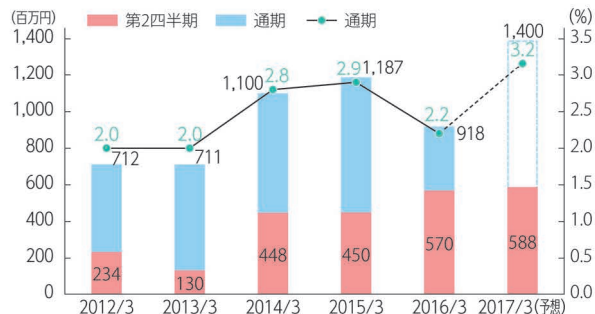
2016年11月  
代表取締役社長 **橋本 東海男**



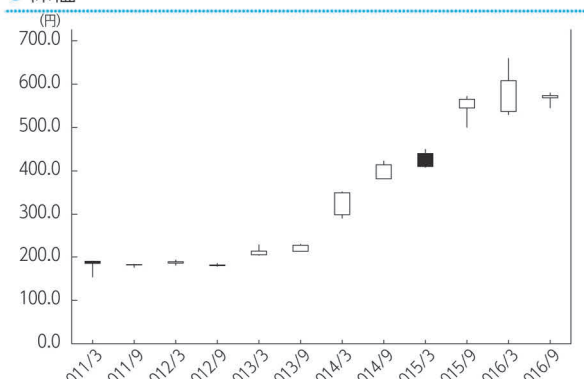
● 経常利益・経常利益率



● 親会社株主に帰属する当期純利益  
親会社株主に帰属する当期純利益率

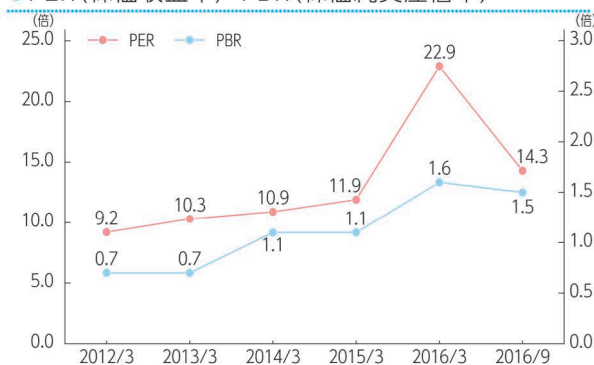


## ●株価



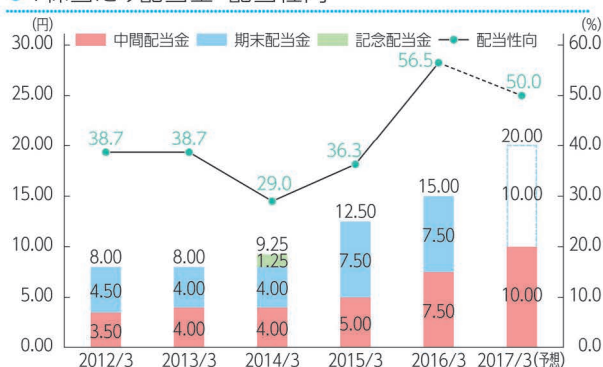
※2014年4月1日付、2016年4月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。  
 ※2016年3月期以前の株価につきましては、上記株式分割を調整した金額としております。

## ●PER (株価収益率)・PBR (株価純資産倍率)



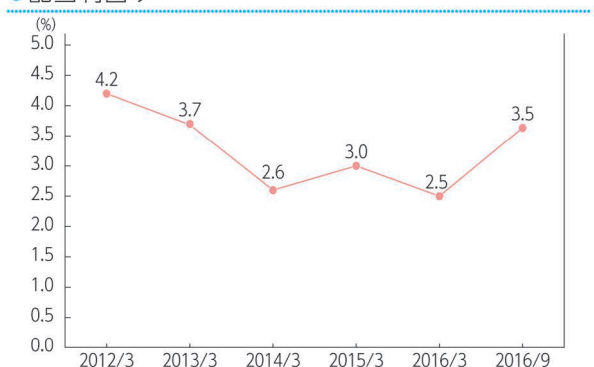
※2016年9月末の株価収益率につきましては、2017年3月期の1株当たり当期純利益(予想)で算出しております。  
 ※2016年9月末の株価純資産倍率につきましては、2016年3月期の1株当たり純資産(実績)で算出しております。

## ●1株当たり配当金・配当性向



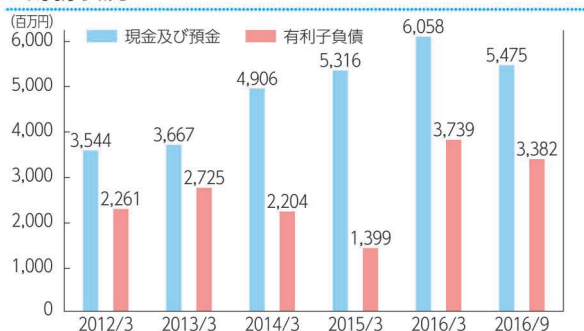
※2014年4月1日付、2016年4月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。  
 ※2016年3月期以前の配当金の額につきましては、上記株式分割を調整した金額としております。

## ●配当利回り

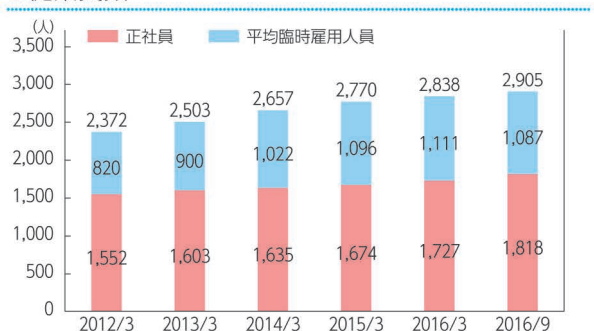


※2016年9月末の配当利回りににつきましては、2017年3月期の1株当たり配当金(予想)で算出しております。

## ●財務状況



## ●従業員数





代表取締役社長

橋本 東海男

Interview

執行役員技術部長

中村 秀一

日本空調グループの根幹である「技術力」について、  
長年現場を経験してきた2人にお話を伺いました。

## 維持管理に関する あらゆる要望に対応できる、 オンリーワン企業として。

——日本空調サービスという社名ですが、どのような事業を展開されていますか？

**橋本:** 当社の経営理念「お客様に安心感を与える最適な環境を維持するために、技術力と人的資源を結集させ、高品質サービスを提供する」に基づき、様々な施設に付帯する設備機器のメンテナンスを主軸とする「建物設備メンテナンスサービス業」を展開しています。

——具体的にはどのようなものですか？

**橋本:** ひと言に施設といっても、病院や製造工場等の特殊な空間を有する施設や空港等の大規模空間を有する施設、一般的なオフィスビル等、様々です。それぞれの

施設に求められる最適な環境は当然千差万別であり、各施設に応じた維持管理が求められるのです。例えば、病院ですと手術室の清浄化や院内感染防止対策（環境消毒や室内圧コントロールによる院内の気流制御等）、X線室等からの漏洩放射線量測定、各病棟の空調管理等、製造工場ではクリーンルームの清浄度管理、製品に最適な環境作り等が求められますが、当社はそれらの業務に対応できる専門部隊を持ち、迅速かつきめ細やかな対応が可能です。当社が最も得意としている大型病院（ベッド数600床以上）の維持管理については、全国で10%以上のシェア（当社調べ）を持ち、数多くのノウハウを有しています。

**中村:** 一般的なオフィスビルの管理も行っていますが、現在は機器のメンテナンスフリー化等も進ん

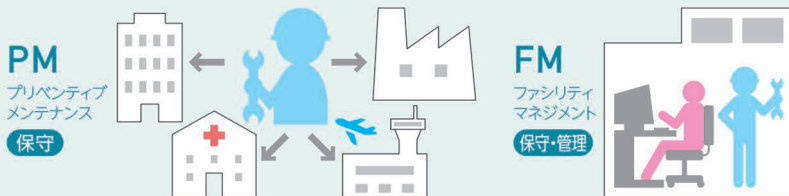


でおり、当社の高度な技術力が活かせる場面は減ってきていますね。当社は維持管理が難しい環境を有する施設ほど真価を発揮するといえます。

——日常的にはどのような業務をされているのですか？

**橋本:** 基本的にはお客様と年間契約を締結させていただき、お客様の資産である設備機器の故障を

●業務内容 PM・FM・RACの3部門で総合的な設備管理を行います。



未然に防ぐ「予防保全」という概念のもと、それぞれの設備機器に応じた定期点検作業を行っています。ひとつの施設の中にも、空調・電気・衛生・給排水・消防等様々な設備があり、それらはメーカーも多種多様です。当社は、創業以来独立系企業として歩んでいるため、様々なメーカーの機械の維持管理ができるという強みがあります。

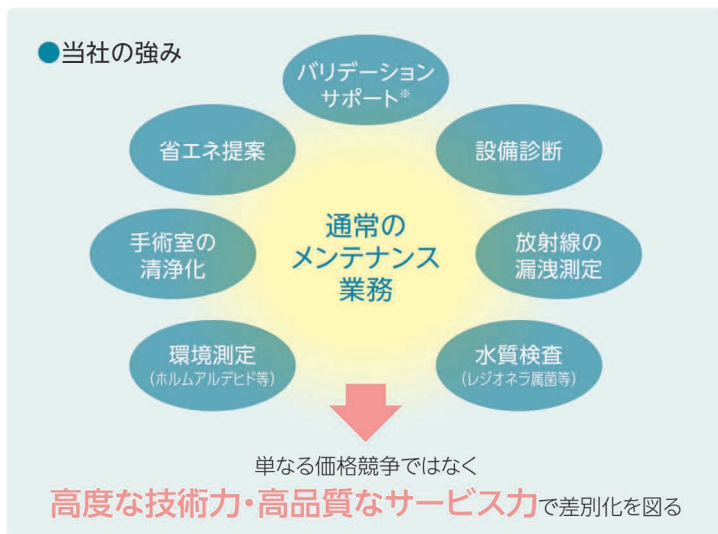
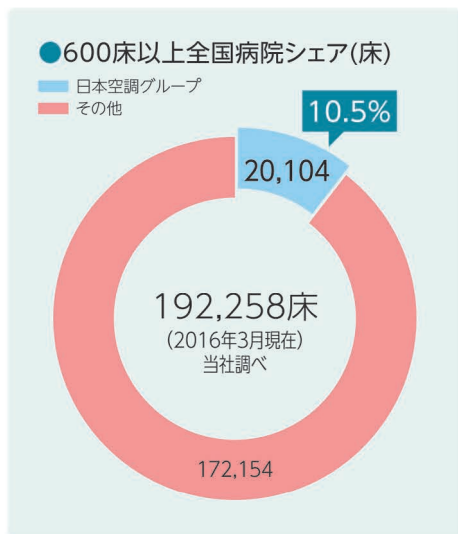
**中村:** また、設備機器の故障といった緊急時には、いち早く現場に駆け付けて応急処置をします。その後、お客様には設備機器の部品交換提案や機器自体の入替え提案等、状況に合わせた様々なご提案をさせていただき、最適な修繕

作業を実施しています。当社は、建物設備メンテナンス部門を中核にリニューアル工事部門も併せ持っておりますので、このような一貫したサービスをご提供できます。その他にも医薬品製造施設の国際基準への適合支援を行うバリデーションサポートや、人間の五感では感知できない微生物、環境条件を総合的に測定・分析・評価し、求められる基準をクリアしているかを診断する総合環境診断システム等も持ち合わせています。

**橋本:** これらの技術を駆使しながら、お客様のあらゆるご要望に自社対応できる設備管理会社は、私の知る限り日本空調サービスしか



ありません。これこそがお客様に重宝していただける大きな要因と考えられます。



※安心・安全な医薬品を製造するための設備、環境作りをサポートする業務。



## 〇JTを中心とする充実した教育カリキュラムで社員の技術力を向上。

——それらの技術を支えるために、どのような教育をされているのですか？

**橋本:** 当社の最大の武器は社員の技術力ですから、社員教育には非常に力を入れています。現在は、新入社員に対して10年に渡る教育カリキュラムを作成し、基礎的な技術力の向上や接遇・マナー等についてもしっかりと教育を行っています。

**中村:** 確かに技術力が最重要ですが、現場ではお客様とコミュニケーションを取る機会も多いため、接遇・マナーについても一段と気を配る必要がありますね。ちょっとした気遣いや心配りから、お客様の信頼と満足を得ていくことにも繋がります。

**橋本:** そして、教育として最も重要なのはOJT (On the Job Training) です。先程も申しましたが、お客様の施設の環境や設置されている設備機器は多種多様です。同じ設備機器でも組み込まれているシステムや設置環境によって対応の仕方も変化します。それらを肌で感じながら、自分自身の経験値として積み重ねていく。一つひとつは小さなことかも知れませんが、それらを継続してスキルアップしていく結果が、お客様からの「日本空調に仕事をまかせて本当に良かった、これからも頼むよ」というご評価に繋がるものと確信しています。

**中村:** これからの課題としては、ベ

テラン社員の経験や技術をいかに伝承していくかですね。普段からOJTや研修の際に若手社員と交流する機会を増やしてはいますが、なかなか言葉や文章で説明できない部分もあります。可能な部分は標準化し、技術力の全体的な底上げを図っていきます。

**橋本:** また、当社の海外進出に伴い、現地雇用も積極的に行っています。海外の現地雇用社員に対して日本国内で研修を行い、高度な技術力や、お客様とのコミュニケーション能力、安全衛生・品質管理等、これまで日本空調グループが積み上げてきた「日本空調ブランド」をしっかりと吸収してもらいたいと考えています。



## 日本空調のスピリットを 海外にもしっかり根付かせ、 さらなる飛躍を目指します。

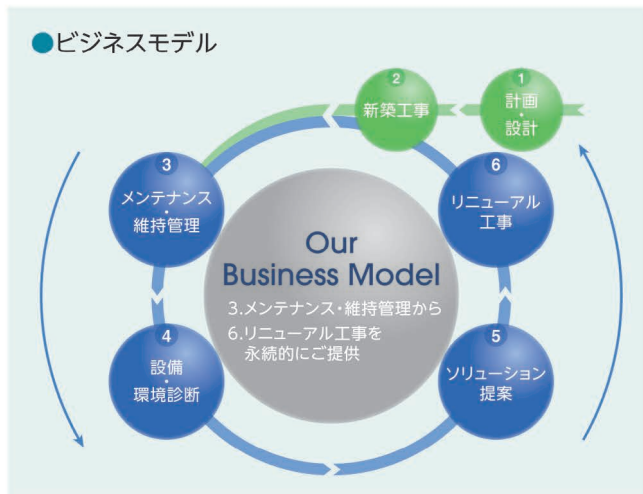
——海外において日本空調に求められるものは何でしょうか？

**中村:** 海外、特に発展途上国においてはそもそもメンテナンスという概念がほとんどありません。「壊れたら取替えばよい」、「現在稼動している設備機器がどの程度の能力を発揮しているのか分からない」といった状況です。そのため、海外に進出されている日系工場等は設備機器のメンテナンスにおいて非常にご苦労されています。私たちはそうした方々が安心して本業に専念できるよう、設備機器



のメンテナンスを通して全力でバックアップしていかなければなりません。日本と大きく異なる環境下においても、日本国内と同様のクオリティでお客様に満足していただくことが重要です。

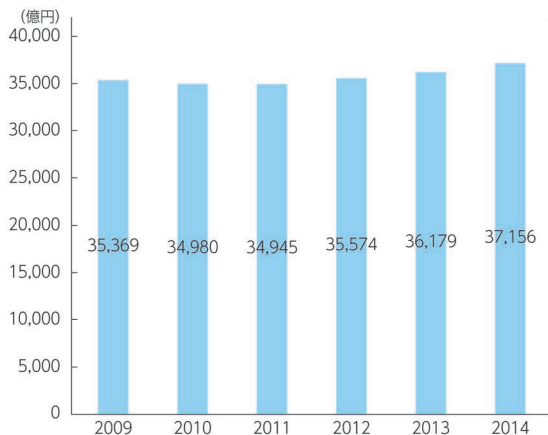
**橋本:** 近い将来、間違いなく海外での展開が当社グループの中核を担う日がやってきます。技術だけではなく、日本空調のブランドとスピリットを海外にもしっかりと根付かせていくことが必要なのです。



# 市場データ・株式情報

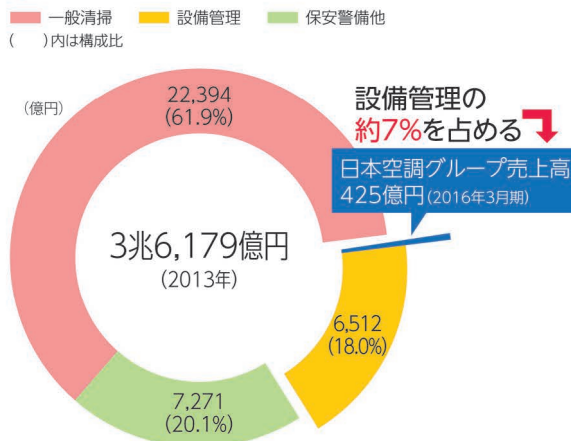
(2016年9月30日現在)

## ●ビルメンテナンス業界市場規模



※全国ビルメンテナンス協会「歴年の業界の総売上げ」「歴年の実態調査の概況」の推計値より計算

## ●業種内容別売上構成



●発行可能株式総数 72,000,000株

●発行済株式総数 35,784,000株

●株主数 4,529名

## ●大株主の状況

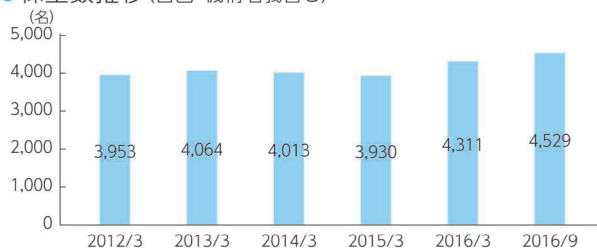
株主名	持株数(千株)
日本空調サービス従業員持株会	3,114
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,992
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,891
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,640
株式会社愛知銀行	1,336
東京海上日動火災保険株式会社	1,128
岐阜信用金庫	800
CBLDN KIA FUND 136	718
林和子	640
岡地修	578

※当社は自己株式(756千株)を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

## ●所有者別株式分布状況



## ●株主数推移(自己・機構名義含む)



## 会社概要

(2016年9月30日現在)

- 商号 日本空調サービス株式会社  
Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.
- 住所 〒465-0042  
愛知県名古屋市名東区照が丘239番2
- T E L 052-773-2511 (代表)
- 設 立 1964年(昭和39年)4月28日
- 資本金 1,139,575千円
- 従業員数 1,072名

### 役員

取締役			
代表取締役社長	橋本	東海	男子
取締役	草野	幸二	士
取締役	田中	洋	二
取締役	中町	博	司
取締役	室谷	敏	彰
取締役	景山	龍	夫
取締役	森田	尚	男

監査役			
常勤監査役	渡邊	資	史
監査役	杉山	文	廣
監査役	佐伯	典	久
監査役	寺澤	澤	実

- (注)1. 取締役 草野幸士及び田中洋二は、執行役員を兼務しております。  
2. 取締役 景山龍夫氏及び森田尚男氏は、社外取締役です。  
3. 取締役 景山龍夫氏及び森田尚男氏は、東京証券取引所及び名古屋証券取引所に独立役員として届け出ております。

- (注)1. 監査役 佐伯典久氏及び寺澤実氏は、社外監査役です。  
2. 監査役 佐伯典久氏及び寺澤実氏は、東京証券取引所及び名古屋証券取引所に独立役員として届け出ております。

執行役員			
執行役員	中村	秀	一
執行役員	中司	等	徳
執行役員	花田	良	士
執行役員	草野	幸	二
執行役員	田中	洋	二

執行役員			
執行役員	依藤	敏	明
執行役員	松本	恒	臣
執行役員	首藤	健	正
執行役員	松井	一	彦
執行役員	渡邊	一	彦

### 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所、名古屋証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.nikku.co.jp">http://www.nikku.co.jp</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

#### ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

日本空調サービス(株) 本社・支店・営業所: 54拠点

グループ会社 国内10社: 38拠点 / 海外6社: 8拠点

アジア圏



バングラデシュ



中国



タイ



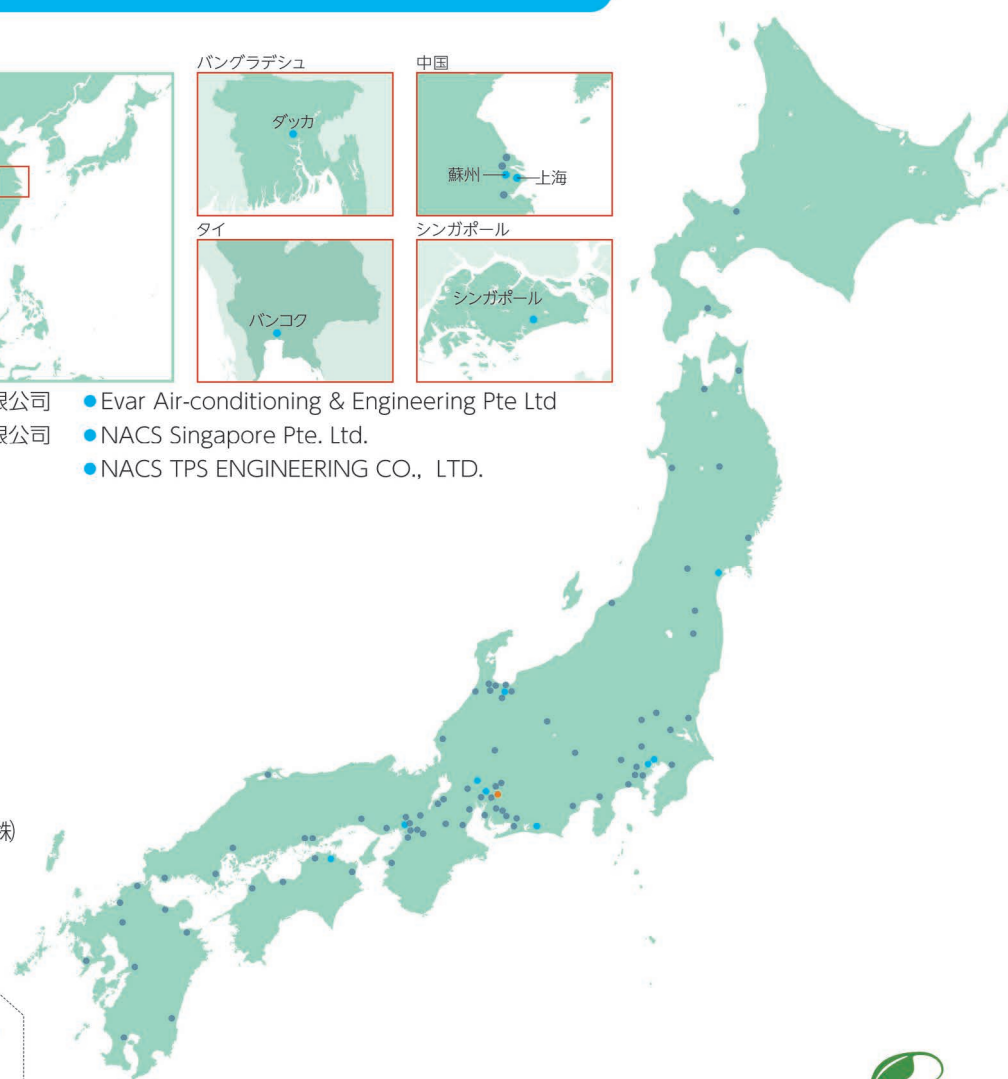
シンガポール



- 蘇州日空山陽機電技術有限公司
- 上海日空山陽国際貿易有限公司
- NACS BD Co., Ltd.

- Evar Air-conditioning & Engineering Pte Ltd
- NACS Singapore Pte. Ltd.
- NACS TPS ENGINEERING CO., LTD.

- 日本空調サービス(株)
- 日本空調システム(株)
- (株)日本空調岐阜
- (株)日本空調北陸
- (株)日本空調東北
- (株)日本空調東海
- 西日本空調管理(株)
- 東日本空調管理(株)
- 日空ビジネスサービス(株)
- イーテック・ジャパン(株)
- 日本空調四国(株)



※拠点数につきましては、2016年10月31日現在で表記しております。